栩野正喜の勁草塾・・「逆風に立つ」

勁草塾の元は「疾風勁草」の故事から来ており
厳しい状況（疾風）になっても凛として立ち上がる強い人（勁草）になる
ということを願っている。

しかし、「寄らば大樹の陰」という格言があるように
誰かに縋りつこうとする人が多いのも事実である。

「K 字構造」は同じ企業内でも
「伸びる層」と「沈む層」
と分かれるが、
大企業ならリストラされる人も出るが
中小零細では、それも出来ずに全体が「沈む」
となりかねないのだ。

その中で「俺がやる」と立ち上がり、
厳しい環境の中でリーダーシップを発揮して「伸びる層」に導く
という貴重な「人財」が望まれるのだ。

禅の格言に「動中の工夫、静中に勝ること幾千万億倍」があるが
「静中」は座禅を組んで思案することだが、
「動中」は作務、つまり、仕事をする中から工夫（アイデア）が浮かび具体的な効果を生み出す
という教えのように、「ダメ」だと嘆くばかりでなく「俺がやる」と立ち上がり、
今ある状況下でも「何」かの突破口を見つけて邁進する姿が望まれるが
「言うは易く、行うは難し」
にならないように不屈の精神を発揮することが大切なのだ。

世の中は「ちょっとの差」の積み重ねで「運命」も変わると言えるので
ほんの「ちょっと」の事でよいからアクションを起こして欲しいと願っている。

【勁草塾のバックログはホームページにあります！】